

施政方針

本文は、市議会3月定例会で行った施政方針演説の一部を抜粋したものです。



高浜市長 吉岡初浩

【お話し】

私は市長就任以来、「高浜市の根っこをつくる。」という方針を掲げ、現場である地域へ足を運び、市民の皆さまとの対話を大切に、共に行動することをモットーとしてまいりました。「市民にとって真に必要な施策は何か」を常に問い続け、限られた財源の中で、事業の必要性や成果をしっかりと踏まえ、市民の皆さまにご理解をいただきながら、市政運営をしていくことを基本姿勢としております。今、高浜市では、まちづくり協議会の活動、市民映画「タカハマ物語」、B・1グランプリなど、人と人がつながる、新しい輪が次々と生まれていきます。その輪の「根っこ」には、市民の皆さまの日々の地道な活動の積み重ねがあります。まちを愛する心を持ち、黙々とこのまちの発展に尽くす方々の鼓動がさまざまな場所で響き合い、つながり合うことによって、さらに新しい輪ができていく。その中から芽生える「誰かを思い

やる心、支え合っていくこととするやさしさ」。これが将来都市像「思いやり支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」実現の大きな原動力になると考えております。

平成25年度は「第6次高浜市総合計画」の前期基本計画の総仕上げの年であり、平成26年度から向こう4年間を計画期間とする、今後の市政運営の根幹となる「中期基本計画」をまとめる重要な年度でもあります。人材育成をはじめとした経営基盤の一層の強化に取り組み、限られた財源の中で最大の効果をあげるよう、努めてまいります。

【平成25年度の重点施策】

自治基本条例の精神を広めていくため、副読本を活用した出前授業を市内全小学校の6年生の児童を対象に実施します。

財政状況をご理解いただくため、自然に財政に関する情報に触れられるよう、公共施設などにおいて市の財政状況の見える化を図ります。

公共施設の建物の簡易劣化状況調査を実施するとともに、今後の公共施設の保全スケジュールを明らかにする公共施設保全計画を取りまとめます。

職員力の強化として、幹部職員を対象にマネジメント力強化の研修を実施するとともに、主

体的に行動していける人材の育成を図るため、「たかはま地域経営実践塾」を開講します。

地域でさまざまな知識や技能を持った方が、子どもたちへ知識や技能を伝承し、夢や希望を与える「高浜の学校」を実施します。

市民映画「タカハマ物語」の制作を通じて得た成功体験を礎として、中高校生自らがイベントの企画や運営を行う事業を支援します。

安心して子どもを産み育てる環境を整えるため、待機児童対策として、公立園、民間園の弾力運用の拡充や、家庭的保育を新たに1か所開設します。また、公立幼稚園の預かり保育事業を拡充します。

小中学校に続き、保育園・幼稚園・児童センターなどに飛散防止フィルムを貼り、子どもたちの安全確保を進めます。

地域防災対策として、愛知県との動きに合わせ、地域防災計画の見直しに着手するほか、市の防災資機材等整備計画に基づき、非常食の備蓄や避難所資機材の整備を行います。また、教育委員会と連携して、避難訓練や防災教育のあり方を検討します。

より多くの市民に迅速に災害情報を伝達できるよう、昨年度整備した同報系防災行政無線に

加え、新メールシステムの導入や防災ラジオの有償配布・運用を進めます。

高浜ベイサイド計画に基づき、高浜貯木場跡地をイベント・マリーンレクリエーションゾーンとして活用を図るための調査検討を実施します。

通学路緊急合同安全点検で指定された通学路のカラー舗装、車道分離標、区画線の引き直しを実施します。

産業振興として、新たな企業への誘致や既存企業の事業規模拡大に対する支援、地場産業振興支援、「コミュニティ・ビジネス創業支援」を進めます。

豊川市で開催されるまちおこしの祭典「B・1グランプリ」への「たかはまとりめし」の参戦を支援します。

小・中学生を対象とした環境学習を実施するほか、今後10年を見据えた新たな「ごみ処理基本計画」を策定します。

生涯現役のまちづくり事業として、要支援・要介護になるおそれが高い高齢者の外出支援、新たな交流の場を創出します。増加する認知症への対応として、認知症初期集中支援チームを立ち上げるとともに、医師会の協力をいただきながら認知症サポート医の養成を進めます。

問介護サービスを開始します。

昨年12月のまちづくりシンポジウムでご講演いただいた、鹿児島県柳谷集落、通称「やねだん」の豊重哲郎さんは、「集落民一人ひとりがレギュラーであり、補欠はいない」との信念を持ち、当時、人口約300人、高齢化率は4割を超え、笑いと希望が消えていた集落を、ご自身の情熱で一人ひとりの住民の心を動かし、住民総出による地域再生を成し遂げられました。この小さな集落の「結束力」は、小規模な自治体である本市が将来を切り開いていくうえでキーワードであると考えています。

世界に例を見ない高齢化の進展をはじめ、先の見えない不安が背中合わせの時代。これを超えるために、私たちが、私たちのために、私たちの手で共に高浜市の未来を創り上げていくという決意が求められます。

一人ひとりが持っている個性を大切にし、尊重し合い、活かしながら人と人とのつながりを未来への大きな力としていくために、市民の皆さまの力、地域の力、さらには、職員の力を結集し、アシタのチカラとなる

「高浜市の根っこづくり」を進めてまいります。